

CSR 推進体制

社会からの要請を受け止め、社会の変化の先を読み、社内の各部門が自主的に課題を設定し、問題解決に取り組む事で CSR を推進しています。

CSR 推進体制の再構築

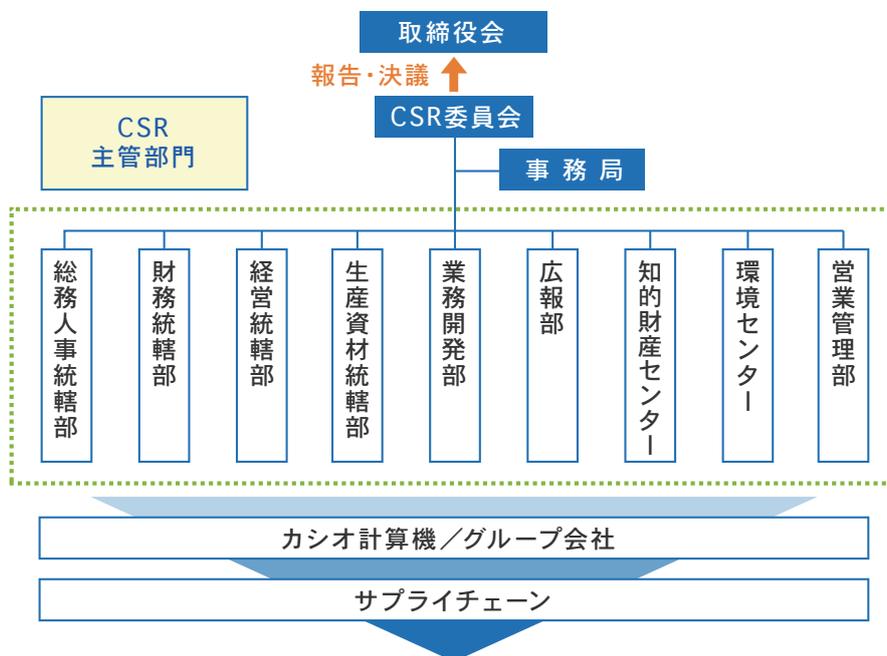
カシオでは、2004年に社長を委員長、取締役・監査役を構成メンバーとする CSR 委員会を設立し、以来 CSR に関する事項を審議、決定してきました。

決定した事は全社に通知され、いわばトップダウンの形で CSR が推進されてきましたが、この場合、速やかに周知徹底されるメリットはあるものの、一方で各部門が CSR を自らの問題として主体的に考えにくいという負の側面もありました。

一方、企業に対する社会からの要請は年々広範囲に、そして高度化しています。こうした要請に的確に応え、地に足をつけた CSR を推進するために、2010年度より CSR 委員会のあり方を改める事としました。

具体的には、カシオが社会から要請されている事は何か、社会はどのように変化しているのか、それに対してカシオはどう取り組んでいったらいいのか。こうした事を、各部門が主体的に検討し、推進すべきテーマを決定する方法に改め、2010年3月度に開催した（旧）CSR 委員会で以下の推進体制とする事を決定しました。

■（新）CSR 推進体制



CSR 委員会の運営

新しい CSR 委員会のメンバーは、CSR 担当役員を委員長とし、スタッフ部門管掌役員、各スタッフ部門長、監査役で構成されます。

CSR 委員会では、社会の変化並びに社会からの要請とカシオの現状を分析する事により、常に問題

点を見える化し、年度初めに優先的に取り組むべき課題を設定します。

そして、課題ごとに決められた主管部門は、関連部門と協議しながら将来のあるべき姿と、今年1年間の推進計画を立案し、具体的にPDCAのマネジメントサイクルに沿って取り組みます。

一方、CSR委員会事務局は、期中での進捗確認の他、年度末には監査を行い1年間の活動実績を整理し、翌年に向けての課題を抽出します。そして、年度ごとの活動実績を取締役会に報告します。

また、従来のリスク管理委員会は、この新しいCSR委員会に吸収し、リスク管理のテーマはCSRのテーマと並行して、毎年課題を設定しながら、CSR委員会の枠組みの中で推進する事としました。

この新体制に移行するにあたっては、2010年4月7日に「キックオフ会議」を開催し、新しいCSR委員会のメンバーに対し、事務局であるCSR推進室より、新体制および今後の進め方、カシオの現状の課題について説明を行いました。

同時に、過去3年にわたりコーポレートレポートの第三者意見を執筆いただいている、NPO法人IHOE 川北秀人代表より「最近のCSR動向と先進的な他社事例」について講演いただき、CSR委員会メンバーの認識の統一を図りました。



CSR委員会キックオフ会議

社会活動における 2009 年度の行動目標・実績 / 2010 年度の行動目標・計画

カシオは、確実に CSR を推進するため、具体的な PDCA のマネジメントサイクルに沿って取り組みを行っています。社会活動における 2009 年度の課題と活動実績、また活動実績を踏まえた 2010 年度の重点課題を紹介します。

コーポレート・ガバナンス

2009 年度の行動目標	2009 年度の実績	2010 年度の行動目標・計画
金融商品取引法に基づく内部統制のさらなる改善推進	2008 年度に構築したモニタリング体制（自己点検制度）を補強する取り組みとして、「運用責任者制度」を導入	金融商品取引法に基づき、内部統制のさらなる改善を推進

コンプライアンス&リスクマネジメント

2009 年度の行動目標	2009 年度の実績	2010 年度の行動目標・計画
重要法令について、継続的な改善状況を確認するためのモニタリングとリスク発生などへの対応を確認するためのシミュレーションを実施	5 つの重要法令について、継続的に改善状況を確認するためのモニタリングとシミュレーションを実施	重要法令について、順次継続的に改善状況を確認するための、モニタリングとシミュレーションを実施
国内グループ会社での「カシオグループ倫理行動規範」教育の実施	全国内グループ会社において、「カシオグループ倫理行動規範」教育を実施	全国内グループ会社、および海外邦人社員を対象に「カシオグループ倫理行動規範」教育を継続実施
「カシオ創造憲章 行動指針」教育の実施	全国内グループ会社において、「カシオ創造憲章 行動指針」教育を実施	全国内グループ会社において、「カシオ創造憲章 行動指針」教育を継続実施
情報システムの不正利用・改ざん防止策の推進	情報システムへのアクセス管理・ログ管理の徹底 リスク見直しによる安全対策強化を実施	プライバシーマーク制度活用による個人情報漏洩 リスク低減活動の実施 ISMS を活用した情報システムリスク低減活動の 実施 ITIL 導入による重大システムトラブル“ゼロ”への チャレンジ
グループ会社の情報セキュリティ統制強化	グループ会社への教育・誓約を実施	

お客様

2009 年度の行動目標	2009 年度の実績	2010 年度の行動目標・計画
品質改善の優先課題設定と重点施策の実施	ソフト、デバイス、機構などの原因分類ごとに、重点課題を設定し、改善活動を実施	徹底した再発防止の取り組みと、未然防止に向けた技術力の向上 「製品安全に関する自主行動計画」の履行と安全第一の行動 自社・他社事故事例に基づき、設計・製造基準の見直しを実施 安全に関する法規制に対する、的確な遵守対応を実施
徹底した再発防止の取り組みと未然防止に向けた技術力の向上	品質情報データベースの活用による、再発防止と未然防止の徹底	
「製品安全に関する自主行動計画」の履行	「製品安全に関する自主行動計画」に基づき、消費者の安全確保を徹底	
自社・他社事故事例を参考とした設計・製造基準の改定	再発防止を目的とした設計基準・製造基準の制定、改定と検証を実施	アフター CS 満足度調査実施による、お客様満足度向上施策の継続を推進 お客様サポート Web サイト充実の継続を推進 修理サービスの改善強化による、お客様満足度向上の継続を推進 お客様の声の分析強化と情報発信／共有化のためのデータベース整備
安全に関する法規制の確実な履行	安全に関する法規制に則り、届出、認証取得、適合確認状況の監視を実施	
修理スピード、修理品質の改善強化によるサービス品質向上の継続推進	お客様修理相談センター集約と製品別専任化体制による電話対応品質向上 お客様修理相談センター電話対応録音装置による、お客様の問い合わせ内容の分析、適切な回答の改善の取り組み	アフター CS 満足度調査実施による、お客様満足度向上施策の継続を推進 お客様サポート Web サイト充実の継続を推進 修理サービスの改善強化による、お客様満足度向上の継続を推進 お客様の声の分析強化と情報発信／共有化のためのデータベース整備
製品サポート Web サイト充実の継続推進	国内向けサイトの名称を、「お客様サポート」へ変更 ユーザビリティ向上を目指し、画面ビジュアル化と導線短縮化したサイトリニューアルを実施	
お客様の声をベースにした製品機能改善活動の推進	お客様の声をもとに、製品、マニュアル、カタログ、Web サイトの改善を継続実施	生産管理システム統合に向けた運用領域拡大 中国内生産拠点の生産設備の標準化、管理システムの共通化による、拠点配分政策の容易化 営業計画と密着した SCM 生産の実現 計画システム本格稼働。カシオ SCM と連動したグローバルレベルでのロジスティクスプロセス改革の推進
生産拠点生産管理システムの結合	カシオタイ計画／管理システム構築運用	
カシオグループ全体のグローバルロジスティクスをお客様視点で統合的に一元管理	現行基幹システム再構築に向け、プロセストリアル（青海）を実施	生産管理システム統合に向けた運用領域拡大 中国内生産拠点の生産設備の標準化、管理システムの共通化による、拠点配分政策の容易化 営業計画と密着した SCM 生産の実現 計画システム本格稼働。カシオ SCM と連動したグローバルレベルでのロジスティクスプロセス改革の推進
カントリーリスクの軽減	中国進料加工工場における、複数品目の生産を拡大	

お取引先

2009年度の行動目標	2009年度の実績	2010年度の行動目標・計画
中国華南地区とタイ国において、資材調達方針説明会を継続開催。調達先のCSRを促進	8月28日中国シンセンにてVM開催、400名の取引先参加。代表取引先による自社CSR活動の事例発表と、MQCD（経営・品質・コスト・納期管理）の優れた取引先の表彰などを実施	国内・海外のお取引先に対する、CSRアンケート調査を継続 新しく海外にて組織化したCSR推進プロジェクトの活動を通して、海外のお取引先へのCSR推進の働きかけを実施 海外でのベンダーミーティングにおいて、代表取引先によるCSR取り組み事例発表を定例化し、双方向コミュニケーションの場として活用
中国とタイにおいても「CSR遂行アンケート調査」を実施	中国119社、タイ42社よりアンケート回答を回収 集計結果とお取引先への今後の期待のコメントを添え、生産拠点よりお取引先へフィードバック 海外におけるCSR推進の体制づくりを実行（CSR推進プロジェクトの発足）	

従業員

2009年度の行動目標	2009年度の実績	2010年度の行動目標・計画
女性活躍促進ワーキンググループの継続 女性活躍促進に関するセミナー、教育の継続実施	女性活躍促進ワーキンググループ定例会（月2回）を実施 社長×女性活躍促進ワーキンググループ座談会の実施 部門長座談会（部門長ヒアリング）の実施	女性活躍促進について、女性社員・管理職の意識調査を実施し、その内容を元に女性活躍促進アクションプランを策定 障害者雇用について、グループ全体での法定雇用率達成に向けて継続して推進 定年退職者への就業機会の提供の継続実施 女性従業員の育児休業取得率90%以上を維持継続 時間外勤務削減活動と安全衛生活動をグループ全体で推進 社員において健康増進の啓発活動を実施
主要グループ会社での障害者雇用 法定雇用率達成	カシオ計算機（2008年度：1.83%→2009年度：1.96%）、国内連結（2008年度：1.67%→2009年度：1.76%） 継続的な採用活動を積極的に展開し、グループ全体での法定雇用率達成に向けて推進中	
定年退職者への就業機会の提供の継続	定年退職者への就業機会の提供の継続	
仕事と家庭の両立支援への取り組み	2009年7月、厚生労働省から仕事と家庭の両立を積極的に支援する企業として、「次世代認証マーク（愛称「くるみん」）」を取得	
介護休業制度の拡充	介護休業制度の拡充 [~3/31] 介護休業+介護による勤務時間短縮（1時間）…93日まで [4/1~] 介護休業…1年まで 介護による勤務時間短縮（2時間）…介護事由が消滅するまで	
女性従業員の育児休業取得率の継続（90%以上）	女性従業員の育児休業取得率90%以上を維持継続	
キャリアチャレンジ制度の推進	社員が定期的に自己のキャリア・スキル・挑戦意思を会社に登録し、上司の育成方針とともに、今後の配置計画における重要な参考情報として実施	
主要グループ会社での人材公募制度の実施	2009年度から主要グループ会社での人材公募制度を実施	
スキル選択型研修の推進	2005年から、一般社員全般を対象とし、業務遂行に必要な多様なスキルを効果的かつ効率的に体得できる事を目的に、さまざまな研修コースから必要なものを選択して受講する研修を継続実施（2009年度は17コースを実施）	
職場環境の向上と主要グループ会社への展開	産業医の増員とグループ会社を含めた安全衛生活動の開始	

地域社会

2009年度の行動目標	2009年度の実績	2010年度の行動目標・計画
受け入れ、出前授業の継続実施	カシオ計算機として800名、甲府カシオとして683名の生徒さんたちに、学習の機会を提供	出前授業のプログラム内容の充実化による、活動拡大
カシオ科学振興財団による研究助成の継続	カシオ科学振興財団にて、合計42件・総額5,200万円の研究助成金を贈呈	最先端科学技術研究のための支援を継続